

第1章 第1回総会の記録 30年歴史はこの総会からはじまりました。

はじめは昭和62年12月、本部同窓会の稲名会長、西ヶ谷校長と中1～高8回生10数名が都内(築地・松竹会館)で設立総会を開き、本会の立ち上げを議論しました。 発起人に中19、20回生の杉山利信氏、森正巳氏、堀敬司氏、大塚進三氏、柳澤利信氏、代表(初代会長)に塚本博氏(中1回生)が就任されました。

昭和63年2月19日に開催された第1回総会(白金台・都ホテル)のスナップ写真が以下です。 恩師、清水からの出席者を含め参加人数は300名を越えました。(この記録は今も破られていません。) 後に本会の会長をながく務められた竹内宏氏(長銀専務 中21回生)、江國滋氏(エッセイスト 高5回生)、和田春樹氏(東大教授、高8回生)が祝辞を述べられ、乾杯後の懇親会は大いに盛り上がりしました。



清水東同窓会長(当時)稲名嘉男氏の祝辞



初代会長 塚本博氏(中1回生)の御挨拶



鏡開き式;会長・恩師先生方と由比の樽酒を囲んで



乾杯;関東地区同窓会の歴史が始まりました。

立ち上げでの実務は、高8回生の山本孝氏、木内義一氏が担当されました。 山本氏は会則の原案を作成され、運営の骨格を作られました。その後30年間、後輩に受け継がれ今日に至っています。木内氏は会場係を担当され、その後、ながく役員として運営に尽力されています。



山本孝(高8回生)当日司会を務められました。



西ヶ谷校長(左)と木内義一氏(高8回生、右)

第2章 エピソード紹介 歴史調査で伺ったお話より

第1回総会での江國滋先生の俳句

NMさんは、俳人でエッセイストの江國滋先生のファンでした。第1回総会で、先生が清高の先輩であることを知り、胸をときめかしつつ下ろし立てのハンカチに頂いたサインと俳句を紹介します。先生は不意の申し出に気さくに応じられ、同窓の絆を“いにしへの学友”とお記しになりました。(ドラマの一場面のような話ですね。) お話しでは、この出会いは人生の宝物であり、俳句を生涯の趣味とするきっかけになったとの事です。その為でしょうか



“ものの芽や人にやさしくしたくなり” いにしへの学友 江國滋と記載されています。この句は江國先生の代表作です。

お話を伺った方； NMさん(高8回生 女性)

とても明るく若々しい女性でした。ハンカチは先生の訃報を知らせる新聞記事と共に額に入れ、大切に保管されていました。



総会で御挨拶をされる江國滋先生

山下監督を励ます会

お話を伺った方； 澤野弘二さん(高11回生)、多喜義彦さん(高22回生)

平成15年に横浜ベイスターズ監督に就任した山下大輔さん(高22回生)を励ます会の記録です。竹内宏会長発起人のもと同年12月11日に開催(赤坂プリンスホテル)されました。通常総会に加えてこの会を企画することは、関係者にとって、さぞ大変だったと思います。事務局長に山本孝さん、司会は澤野弘二さん、多喜義彦さんが経営する会社の方々にも御協力頂きました。参加者は約160名、恩師と同窓生140名から励ましの言葉が贈られました。澤野さんをはじめ高11回生の集合写真、山下監督と御同期の多喜さんとの写真を紹介します。



山下監督と多喜義彦さん(左)
多喜さんは剣道部OBです。
国体でも活躍されました。

最後列右端が、澤野さんです。写真や資料、司会進行のシナリオまで、大切に保管され、当日のことを熱く語ってくれました。前列右端には、野球部の先輩で昭和33年春夏甲子園に出場されたエースの山田茂利さん、その隣は、野球部主将で捕手の鈴木真夫さんです。山田さんは、その後アマ球界で、鈴木さんはプロ球界で、それぞれ選手、指導者として活躍されました。本校野球部レジェンドと山下監督との貴重な一枚です。

第3章 30年の総会記録

歴代会長



第2代会長 竹内宏氏



第3代会長 山下一平氏



第4代会長 都築賢治氏

	開催日	担当	会長	会場	参加者数	イベント等
設立総会	1987/12/19	旧1期～高8期		築地・松竹会館	十数名	中1回生～高8回生の幹事十数名、本部より稲名会長、西ヶ谷校長、岩崎教諭
第1回総会	1988/2/19		塚本博(中1)	都ホテル東京	300	初代会長塚本博氏(中1回生)就任、著名OB多数祝辞
第2回総会	1989/4/21			都ホテル東京	記録なし	
第3回総会	1990/6/18		竹内宏(中21)	都ホテル東京	記録なし	2代会長に竹内宏氏(中21回生)就任、竹内宏氏経済講演会
第4回総会	1991/6/7			都ホテル東京	記録なし	宝井馬琴師匠(高6回生) 講談寄席
第5回総会	1992/4/24			都ホテル東京	記録なし	和田春樹氏(高8回生) 時局講演会
第6回総会	1993/4/23	高8回生		都ホテル東京	記録なし	シャンソン歌手 田中郎氏(高3回生) アトラクション
第7回総会	1994/6/10	高9回生		東京ステーションホテル	記録なし	三間淑子氏(高9回生) 他フラダンスショー
第8回総会	1995/6/16	高10回生		八重洲国際観光ホテル	記録なし	野球・サッカー全国大会出場ビデオ放映
第9回総会	1996/6/7	高11回生		飯田橋エモントホテル	記録なし	野球日ハムコーチ 鈴木眞夫氏(高11回生)トークショー
第10回総会	1997/5/16	高12回生		恵比寿ウエスティンホテル	記録なし	福引
第11回総会	1998/6/12	高13回生		日比谷ARASUKA	記録なし	郷土芸能(日本舞踊)
第12回総会	1999/6/11	高14回生		八重洲富士屋ホテル	記録なし	邦楽(琴演奏)
第13回総会	2000/6/19	高15回生		品川プリンスホテル	記録なし	宝井馬琴師匠(高6回生) 講談
第14回総会	2001/6/1	高16回生		品川プリンスホテル	記録なし	シャンソン歌手・板倉恵三子氏(高16回生)
第15回総会	2002/6/22	高17回生		ホテルグランパシフィック	記録なし	民謡・ジャンケン大会
第16回総会	2003/7/12	高18回生		学士会館	記録なし	
第17回総会	2004/6/12	高19回生		帝国ホテル	記録なし	かっぽれを中心に清水みなと祭りの踊り
第18回総会	2005/6/18	高20回生		東海大学校友会館	98	中町氏(高20回生)ギターバンド
第19回総会	2006/6/25	高21回生		ホテルオークラ東京	123	村松友視氏講演
第20回総会	2007/6/17	高22回生		東京プリンスホテル	108	山下大輔氏(高22回生)と大榎克己氏(高36回生)スポーツ対談
第21回総会	2008/6/21	高23回生		グランドアーク半蔵門	123	「なんでも鑑定団」西洋アンティーク鑑定の岩崎紘昌氏講演とお宝鑑定
第22回総会	2009/6/20	高24回生		東京プリンスホテル	118	安間繁樹氏(高15回生)講演 ホルネオの動物生態
第23回総会	2010/6/19	高25回生	山下一平(高21)	明治記念館	155	牧田博之氏(高25回生 静岡市議員); 政令市・静岡市の近況 坂部健氏(銀座木村屋OB、小川鉄舟会); 明治天皇と鉄舟と次郎長とあんぱん
第24回総会	2011/6/25	高26回生		明治記念館	149	石川善朗氏(高26回生、公務員研修所長); 政と官 霞が関の行方 石川千秋氏(高26回生、YPPユビキタス研究所); ユビキタスコンピューティングとその将来
第25回総会	2012/6/23	高27回生		ガーデンシティ品川	160	曾我弘氏(高6回生); ベンチャー企業の創出の実績 橋本正洋氏(高27回生、竹内宏氏(中21回生)); 次世代を担う若者へのメッセージ
第26回総会	2013/7/6	高28回生		ガーデンシティ品川	180	吉元由美氏(作詞家 平原綾香のJupiter作詞者); 心の中に楽園を ～ジューターが教えてくれたこと
第27回総会	2014/6/21	高29回生	都築賢治(高21)	明治記念館	150	望月広愛氏(高29回生); A Great Place to Work ～キーワードは経営そのものの質 4億円の赤字を出した企業を8年連続経常増益に
第28回総会	2015/6/27	高30回生		明治記念館	180	高嶋弘之氏(初代ビートルズ担当ディレクター); サビートルズ日本売り出し奮闘記～今だから 話せるサビートルズを売るために仕掛けたブーム 旧友高橋淳一氏(併2回生)とのインタビュー
第29回総会	2016/6/18	高31回生		明治記念館	181	渡邊誠一郎氏(高34回生 名古屋大学教授)講演; はやぶさ2のサイエンス

総会スナップ写真



第2回総会での宝井馬琴師匠スナップ
第4回、13回総会でも講談を演じられ
本会を盛り上げてくださいました。



第7回総会でのフラダンスショー
初期の総会ではこのようなアトラクションが
度々企画されました。華やいだ雰囲気が
伝わってきます。



第29回総会講演 渡邊誠一郎氏、太陽系の成り立ちと、はやぶさ2計画を概説されました。宇宙の神秘に思いを馳せたあの頃にもどって興味深く聴講しました。日本の学術研究への関心は高く質疑も活発でした。



第27回総会講演 望月広愛氏、4億円の赤字企業を立て直した氏のお話は、とても熱く、人間味にあふれていました。後輩管理職に向けて熱いメッセージが伝わりました。



第25回総会講演 左から橋本正洋氏、竹内宏氏、曾我弘氏、曾我氏の基調講演の後、「次世代を担う若者へのメッセージ」と題した講演会の一コマ。総評を述べられた竹内氏のお話では、清水人気が解説され大いに盛り上がりしました。



第9回総会での運営会メンバー紹介
この活動は、「母校と郷土愛に支えられた無私の奉仕」だと、あるOBからお聞きしました。現メンバーの志も同じです。これからも続きます。



第8回総会での高11回生集合写真
同期の再会を喜ぶ恒例の一コマ、この再会を機に幾多の交流が始まりました。多感な頃を共に過ごした同窓の絆は、人生の宝物だと思います。

第20回大会以降、各界で活躍する本校卒業生による講演会を継続しています。これ程内容のある講演を恒例化できるのは、同窓生の社会貢献の証であり、本会の誇りです。

後記 ; 本誌の作成にあたり、柳澤利信様、木内義一様から本会立ち上げの経緯を、澤野弘二様、多喜義彦様、NM様、草ヶ谷陽司様からは、印象に残るエピソードをお聞かせ頂きました。貴重な時間を頂きありがとうございます。総会関連資料の多くは既に散逸し、入手できませんでしたが、初期の総会資料と写真が清高の同窓会室に残されており、本誌の作成に役立ちました。これら資料を残してくれた岩崎忠能先生と仲介くださった現事務局の豊田久留巳様にも御礼申し上げます。30年の歴史のほんの一部をまとめた拙い資料ですが、興味を持ってお読み頂けたら幸いです。